

東京・水戸の仲間が2日間で総勢250名参加



11月16日（金）、15日に続いて水戸地本の仲間と共に「常磐線特急列車車掌一人乗務」に対するビラ配布行動を実施しました。

水戸駅と勝田駅の駅前で行った2日間の行動には、東京地本・水戸地本から総勢250名が参加し、3500枚のビラを配布しました。

16日の行動においても、ビラを受け取る人々から意見や質問をいただきました。常磐線特急で車掌が一人乗務となったことに対して、不満や不安の声がたくさん出されています。

現場で働く私たちの苦労を思いやるあたたかい意見や激励もいただきました。「私にできることがあれば」「力になりたい」「帰ってから投稿するよ」といった声も出ています。

利用者の意見を真摯に受け止め、「安全で、安心してご利用いただける常磐線特急列車の乗務体制」の実現に向けて、東京・水戸の連携を強化し、職場からの闘いをつくりだしていきましょう！



HPにも意見が寄せられています。一部を紹介します。

水郡線もすでに車掌減員、ワンマンが拡大されており、利用者の立場としてはサービス低下、安全確保をJR東日本がどのように考えているのか不安を感じます。